

決算特別委員会の審査報告

決算特別委員会…8人
 (櫻井立志委員長、喜多進副委員長、青木綱次郎市田博、奥村良太、河本隆志、塩員建夫、鈴木康夫の各委員)は10月5日、16日、18日、22日、23日、30日の6日間委員会を開催し、9月定例会で付託

した平成23年度一般会計など9件の決算認定案について審査を行いました。審査は部局別に行い、最終日には5会派による総括審査を行った後、決算認定案をすべて認定しました。主な質疑は次のとおりです。

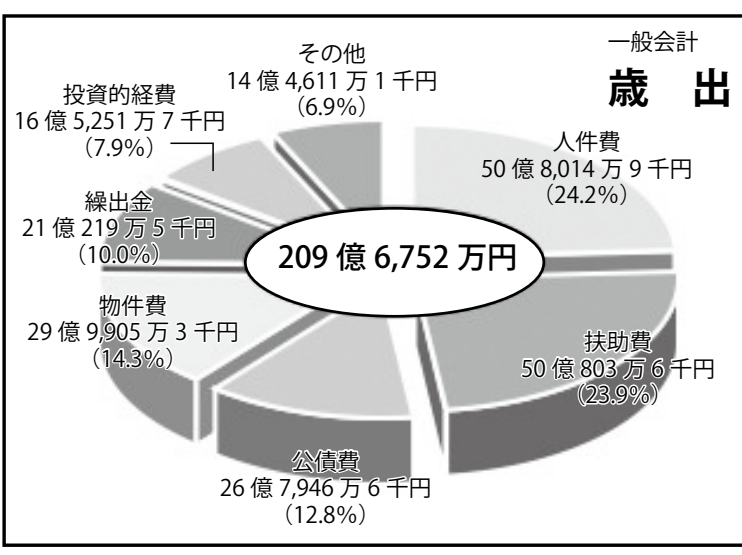
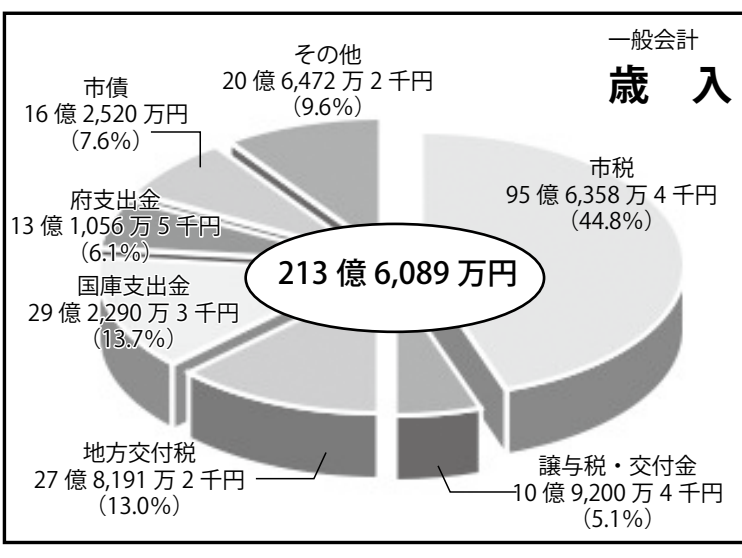
公共工事発注に

ついては、人口増を見越して、ある程度起債を發行し、後年度に負担をまわすことで、人口規模に見合った負担になるのでは。

起債が残ると、後年に影響するので、バランスを考えた上で財政運営を行っている。

路線バスの振興と5000万円の補助を行っている。民間企業の営業努力が必要と思うが、今後も補助を続けていく

安んまちづくり室担当課長 ひたくりや自転車の盗難などが多く、確かに犯罪件数は増えている。啓発に力を入れるなど、さらに警察や防犯推進員とも連携していきたい。



平成23年度会計別決算収支状況

会計区分	歳入	歳出	差引
一般会計	213億6,088万9,636円	209億6,752万6,689円	3億9,336万2,947円
特別会計			
松井財産区	1億1,704万7,897円	1億1,703万7,245円	1万652円
国民健康保険	58億6,492万8,115円	58億4,831万165円	1,661万7,950円
休日応急診療所	2,078万167円	2,071万2,903円	6万7,264円
公共下水道事業	21億1,252万5,361円	21億1,188万8,350円	63万7,011円
農業集落排水事業	4,867万177円	4,857万177円	10万円
介護保険事業勘定	30億2,069万5,798円	30億4,478万3,528円	△2,408万7,730円
介護保険サービス事業勘定	1,527万863円	956万917円	570万9,946円
後期高齢者医療	5億2,789万8,854円	5億2,529万7,236円	260万1,618円
計	330億8,870万6,868円	326億9,368万7,210円	3億9,501万9,658円



民間保育園の移転建設予定地

市民・保健福祉

行った。今後、税法改正によるプログラム変更が予定されるが、費用面で

収入が均等しているのではなく、料金調整基金の取り崩しによって、収支を黒字にしている状態である。料金調整基金が枯渇すれば、水道料金の値上げになると思うが、水道事業管理者職務代理者 下水道料金も含めた抜本的な見直しが必要と考えている。平成27年度くらいから見直し案を検討していきたい。また、水道ビジョンでは、経営の合理化も検討する必要があると考えている。

この川の治水対策を早急に考えていただきたい。開発指導課長 この川は非常に狭い箇所がある川で対策が重要になってくる。どのような方法で治水対策をするか開発者と協議している。

入世帯は、本市の約3分の1が加入されている。そのうち、所得が100万円以下の世帯が半分を超えており、国保税の納付が重い負担となっている。引き下げられるか、国民健康保険特別会計に一般財源の投入を考えるべきではないか。

この川の治水対策を早急に考えていただきたい。開発指導課長 この川は非常に狭い箇所がある川で対策が重要になってくる。どのような方法で治水対策をするか開発者と協議している。

JR松井山手駅周辺の空き地でまだ商業施設以外としてあるところには、高層マンションが建つか。また、商業施設ができたあと、さらに問題になると思われる渋滞対策については、都市計画課長 事業者の京阪電鉄からは、八幡側のマンション近くに同様のマンションが建つと聞いている。渋滞対策は、駅前であることから、商業施設の駐車場を相互に利用することによって、一度駐車したあとは、施設間を歩いて移動できるように協議している。

建設・経済環境等 山手幹線の大住ヶ丘から八幡方面の渋滞の対策には、計画されていた府道池ノ端丸山線の整備を急ぐよう要望すべきではないか。



大住中学校に設置された空調機器

建設部技監 府として多くの事業があり、すぐ

教育

中学校の空調設備について。大住中や培良中は電気がエネルギー源となっているが、これを選択された理由は、教育総務室担当課長 工事費用や運用経費を

中学校の空調設備について。大住中や培良中は電気がエネルギー源となっているが、これを

学校の大規模改修計画は、